

## 第 I 部 記念研究会「内田義彦が遺したもの」序

### <開会挨拶>

事務局長 泉 武 夫

ただいまから「内田義彦が遺したもの」というテーマの研究会を始めたいと思います。

私は当研究所の事務局長をやっております泉と申します。社会科学研究所創立40周年記念集会ということで、第1部記念研究会、第2部記念パーティを計画いたしました。記念研究会を始めるに当たり、事務局から一言御挨拶申し上げます。本日は土曜日で、皆さん予定がいっぱいのところ、わざわざ時間を割いていただきまして、ありがとうございました。もともと、『内田義彦著作集』が刊行中に社研の内部で一度シンポジウム形式の研究会を開いたらどうかという自然発生的な声がありました。それが、この度、こういう形で40周年記念研究会という形で実現したことを、たいへん嬉しく、関係者各位にお礼申し上げたいと思います。特に、今日、報告を快くお引受けいただいた先生方、討議司会者にお礼を申し上げます。それでは、研究会を始めたいと思います。では、司会を当研究所の所員であります常行敏夫さんをお願いします。よろしく。

### <司会挨拶>

常 行 敏 夫

本日の研究会の司会を務めさせていただきます所員で経済学部教員の常行であります。学外のかたがたも含めて、これだけ大勢の研究者が集まった研究会の司会ということで、たいへん荷が思いのですが、文字通りの進行係に徹しさせていただくという条件で引き受けましたので、そうさせていただきたいと思います。行き届かない点が多々あると存じますが、皆様の御寛容を予めお願いいたします。

専修大学だけではなく、広く日本の社会科学界にとっての宝でありました内田先生は、皆様御存知のように昨年3月18日に他界されました。既に1年と4ヵ月の月日が流れてしま